

第2期札幌市教育振興基本計画

第2期札幌市教育ビジョン
【令和6年度～15年度(2024年度～2033年度)】
第2期札幌市教育アクションプラン
【令和6年度～10年度(2024年度～2028年度)】

分かりやすい版



札幌市教育振興基本計画ってなに？

札幌市のこれからの教育をどのように進めていくのかをまとめたものです。

札幌市教育振興基本計画は、札幌市の教育全体に関する計画です。平成26年(2014年)に最初の「札幌市教育振興基本計画」を作りましたが、次の時代に対応するため、令和6年度～10年間を見据えて、新しく「第2期札幌市教育振興基本計画」を作りました。

計画の構成と計画期間

第2期札幌市教育振興基本計画

「第2期札幌市教育振興基本計画」は、これからの10年間の札幌市の教育が目指すべき方向性を示す「第2期札幌市教育ビジョン」と、これからの5年間で具体的に取り組むことをまとめた「第2期札幌市教育アクションプラン」の二部構成になっています。

第2期札幌市教育ビジョン(令和6年～15年度の10年間)では、○どんな人に育てほしいのか・目指すための方向性を示しています。

第2期札幌市教育アクションプラン(令和6年～10年度の5年間)では、○具体的にどんなことに取り組むのかを示しています。

計画の対象範囲

学校教育

教育委員会がつくった市立幼稚園や小学校、中学校、高等学校、義務教育学校、中等教育学校、特別支援学校で
行われている学び

+

生涯学習

子どもから大人までの一生を通した学び

どんな人に育ってほしいのか(札幌市の教育が目指す人間像)

みなさんが、「自立した札幌人」として成長してくれることを願っています。



「自立した」って
どういうこと？

まずは、自分自身が大切な存在であることを認めること。

そして、自分の将来のことを自分で考え、未来に向かって行動すること。

さらに、他の人を自分と同じように大切な存在と認めて、共に支え合いながら生きていくことができること。



「札幌人」って
なんだろう？

札幌の豊かな自然や社会、文化の中で、学び、生活するなかで、自分の学びや成長を実感すること。

そして、札幌を心のふるさととして誇りをもつとともに、多様な価値観や文化を理解、尊重すること。

さらに、他者と協働しながら持続可能な社会の発展を支える人のこと。



「自立した札幌人」ってこんな人

- ・未来に向かって新たな価値を創造し、主体的に学び続ける人
- ・自他のよさや可能性を認め合い、しなやかに自分らしさを発揮する人
- ・ふるさと札幌に誇りを持ち、持続可能な社会の発展に向けて行動する人



「自立した札幌人」を目指す3つの基本的方向性

「自立した札幌人」を目指すために3つの基本的方向性から計画をつくっていきます。

教育機会と活動の視点

① 一人一人が自他のよさや可能性を認め合える学びの推進

- 一人一人のよさや可能性を生かして、様々な人や物事について理解することで考えを広げて、新しい価値を生み出す学びを進めます。
- 様々な悩みや不安を抱えた子どもたちが安心して相談できる仕組みを整え、学校などが、安心感、充実感が得られる活動の場となるよう、支援を進めます。
- 自分らしさを発揮し、心豊かな生活を送ることができるよう、それぞれの子ども の状況に合わせて、適切な学習環境の整備を進めます。

地域連携と学び続ける視点

② 学校・家庭・地域総ぐるみで育み、生涯にわたり学び続ける機会の拡充

- 学校・家庭・地域が一体となって地域全体で子どもたちを支援し、関わり合いのなかで、子どもの声を大切にしたい学校・地域を目指すことで、子どもも大人も育ち合い、より良いまちづくりにもつながる活動を充実させます。
- それぞれの年代に応じて、いつまでも学び続けられる場を充実させるとともに、自分が学んだ成果を地域社会に生かすことのできる機会を増やします。

土台となる環境整備の視点

③ 社会の変化に対応した教育環境の充実

- デジタル化やグローバル化などの様々な環境変化に対応し、子どもたち一人一人の学びを支える教育環境の整備を充実させます。
- 疑問や課題を解決できる学びの場として、生涯学習センターや図書館などの機能を強化し、学びたいときにいつでも学ぶことのできる環境を充実させます。

どんなことに取り組むのか

3つの基本的方向性に沿って、12の内容(教育施策)について取り組みます。

一人一人が自他のよさや可能性を認め合える学びの推進

主体的に考え行動する力を

育む教育活動の推進

多様な教育的ニーズに応じた

教育の充実



豊かな人間性や社会性を育む

教育活動の推進

誰もが安心して学びに向かう

ことのできる支援の充実

学校・家庭・地域総ぐるみで育み、生涯にわたり学び続ける機会の拡充

ふるさと札幌の特色を生かし、

地域に根ざした教育活動の推進

多様な地域資源を活用した豊かな学び

や子どもの成長を支える取組の推進



家庭・地域の教育力向上に

支援する取組の推進

生涯にわたり学び、学んだ成果を

生かすことのできる機会の充実

社会の変化に対応した教育環境の充実

安全・安心な教育環境の整備

子ども一人一人の学びを支える

教職員の資質向上と指導体制の構築



教育DX推進に向けた

教育環境の整備

豊かな生活につながる学び

環境の充実



① 一人一人が自他のよさや可能性を認め合える学びの推進

①—1 主体的に考え行動する力を育む教育活動の推進

【主な事業・取組】

・「分かる・できる・楽しい」と思える授業をつくります。

【「さっぽろっ子『学ぶ力』の育成プラン」の推進】

・運動の楽しさや喜びに触れ、意欲的に運動に取り組む機会をつくります。

【「さっぽろっ子『健やかな体』の育成プラン」の推進】

・自ら進んで外国語を用いてコミュニケーションをとろうとする態度を育みます。

【外国語教育の推進】

・自ら疑問や課題をもち、子どもたちが見通しをもって学びを進め、学ぶことの大切さや自分の成長を実感できる授業にします。

【課題探究的な学習モデル推進事業】

①—2 豊かな人間性や社会性を育む教育活動の推進

【主な事業・取組】

・子ども一人一人が「自分が大切にされている」と実感できる学校をつくります。

【「人間尊重の教育」推進事業】

・日本の伝統や文化を理解するとともに、世界の様々な習慣や文化を理解し、大切にする態度を育みます。

【国際理解教育の推進】

・社会には様々な人がいることを理解し、他者と支え合いながら、一緒に生きようとする態度を育みます。

【道徳教育の推進】

①—3 多様な教育的ニーズに応じた教育の推進

【主な事業・取組】

・特別な教育的支援を必要とする子どもが、通常の学級で教育を受けることができるように支援体制を充実させます。

【通常の学級等における子どもの支援体制の充実】

・医療的ケアが必要な子どもが、安心安全な学校生活を送ることができるように支援が必要な学校に看護師を配置します。

【医療的ケア児への支援体制推進事業】

・日本語の指導を必要とする子ども一人一人に、個別の状況に応じた支援を進めます。

【帰国・外国人児童生徒教育支援事業】

①—4 誰もが安心して学びに向かうことができる支援の充実

【主な事業・取組】

・学校に登校することが難しい子ども等のために、1人1台端末を活用したオンラインによる支援も含め、個別の状況に応じた支援を進めます。

【不登校児童生徒のための新たな学びの場整備事業】

・いじめの未然防止に向けた教育を進めるとともに、いじめの早期発見や対処についての取組を充実させます。

【いじめの防止等のための対策の推進】

・様々な問題を抱える子どもの環境に働きかけ、問題解決に当たるスクールソーシャルワーカーによる支援を充実させます。

【スクールソーシャルワーカー活用事業】

② 学校・家庭・地域総ぐるみで育み、生涯にわたり学び続ける機会の拡充



②-1 ふるさと札幌の特色を生かし、地域に根ざした教育活動の推進

【主な事業・取組】

・札幌の特色を生かした体験的活動や札幌の歴史や文化への理解を深める学習を行い、札幌の特色や魅力について学ぶ機会を充実させます。

【「ふるさと札幌」を心にもつ学びの充実】

・札幌芸術の森や札幌コンサートホール Kitara などに行き、文化芸術の体験活動を通して、子どもたちの創造力や豊かな感性を育みます。

【文化・芸術体験を通じた情操を育む取組】

・市立高校の中で、自分の学校では学ぶことのできない他の学校で行われている特色ある科目を学ぶことができるなど、学校間の連携を進めます。

【市立高等学校間連携・授業連携の推進】

②-2 家庭・地域の教育力向上を支援する取組の推進

【主な事業・取組】

・給食に地場産物を使用するとともに、フードリサイクルも含めた指導を栄養教諭が中心となって行い、食育・環境教育を充実させます。

【学校給食を活用した地産地消や家庭との連携した食育推進事業】

・青少年科学館や青少年山の家などの施設で、自ら考えながら科学に触れたり、自然の中で家族や仲間と共に生活したりするなど、様々な体験学習を充実させます。

【生涯学習施設における体験学習の充実】

・市立幼稚園などで、地域の幼児やその保護者に、親子で安心して遊べる活動体験や子育てに関する講座を行います。

【幼児期における家庭教育支援の充実】

②—3 多様な地域資源を活用した豊かな学びや子どもの成長を支える

取組の推進

【主な事業・取組】

・地域の力を生かした色々な学びや体験の機会に触れ、活動を通じて地域と学校がつながり、地域全体で子どもを育てる環境をつくります。

【地域学校協働活動推進事業】

・「地域とともにある学校づくり」を進めるため、学校運営協議会制度を導入します。

【コミュニティ・スクール推進事業】

・学校部活動の指導に、先生だけでなく外部の方が指導する外部人材の活用を進めます。

【学校部活動における外部人材の活用の推進】

②—4 生涯にわたり学び、学んだ成果を生かすことのできる機会の充実

【主な事業・取組】

・色々な分野での学習機会がつけられている「さっぽろ市民カレッジ」を充実させます。

【「さっぽろ市民カレッジ」の充実】

・特別支援学校などを修了した知的障がいのある方が、多様な学びを受けることができる生涯学習の場をつくります。

【知的障がい者のための学びの応援事業】

・図書館で、文化人や専門家の講演会や、様々な種類の図書展示を行うなど、新たな文化と出会うことができる場を充実させます。

【図書館における講演会・図書展示等の充実】

③ 社会の変化に対応した教育環境の充実



③-1 安全・安心な教育環境の整備

【主な事業・取組】

・子どもが自ら身を守ろうとする態度や、危険を予測し安全に行動することを学ぶ防災教育など、学校における安全教育を充実させます。

【安全教育の充実】

・学校施設の段差解消やバリアフリートイレの整備など、バリアフリー化を進めます。

【バリアフリー化整備の推進】

・安全かつ快適な学習環境のために、学校施設に冷房設備を整備します。

【学校施設冷房設備整備事業】

③-2 教育DX推進に向けた教育環境の整備

【主な事業・取組】

・ICTの特性や強みを生かした学習を充実し、「学ぶ力」の育成とともに情報活用能力の育成を進めます。

【ICTを活用した教育の推進(情報教育)】

・1人1台端末を活用した効果的な授業を行うことができるよう、ICT機器やデジタル教材の整備を進めます。

【ICT機器・デジタルコンテンツ等の整備】

・先生方の仕事にICTを効果的に取り込み、仕事の効率化を進めます。

【ICTを活用した校務支援の充実】

③—3 子ども一人一人の学びを支える教職員の資質向上と指導体制の構築

【主な事業・取組】

・教員を希望する市立高校の生徒や大学生を対象に、教員のやりがいや札幌の特色ある教育の魅力伝えるセミナーを行います。

【養成段階の教職志望者への研修等の推進】

・教員の経験年数に応じた研修を充実し、先生の指導力を高めます。

【教職経験に応じた研修の充実】

・35人学級を小学校全学年へ拡大します。

【小学校における少人数学級の拡大】

③—4 豊かな生活につながる学びの環境の充実

【主な事業・取組】

・子どもたちが、自分の発育や健康状態に関心をもてるよう、幼稚園や学校で行われる健康観察や健康相談及び保健指導を充実させます。

【学校保健の充実】

・生涯学習センターや青少年科学館などの生涯学習関連施設を

管理運営し、生涯学習活動を支援します。

【生涯学習関連施設の管理運営】

・図書館職員によるレファレンスサービスなどに加え、メールでの対応やデジタルライブラリーなど、図書館に行かなくても情報収集を行えるサービスを充実させます。

【図書館による情報提供の充実】

どんな取組に力をいれていくの？

5年間で、様々な取組(施策や事業)を進めますが、特に、3つの項目について重点的に取り組めます。

重点1 共生社会を担う力の育成

- 自分のよさや可能性に気付き、自ら進んで取り組む態度や行動力などを身に付ける学びを進めます。
- お互いの個性や多様性を認め合い、他者と関わる機会を通して、新たな価値を創造する力を育む学びを進めます。

重点2 誰一人取り残されない教育の推進

- 子どもの個性を尊重し、多様な教育的ニーズに応じた教育環境の整備を進めます。
- 様々な子どもの困りや課題に向き合い、誰もが安心して学びに向かうことのできる教育環境の整備を進めます。

重点3 生涯にわたる健やかな体の育成

- 「運動の楽しさ」にふれることを重視した学びを進めます。
- 自らの健康を保持増進しようとする態度を育てる学びを進めます。
- 体力向上に向けた運動習慣を身に付けるための取組を充実させます。

25の目標(成果指標)

計画がよりよく進んでいるかどうかを確認するために、25の目標(成果指標)をつくりました。この目標は毎年度調査し、明らかになった成果や課題を、次の年度の取組に生かしていきます。

①—1	自分の目標をもって生活している子どもの割合
	疑問や課題を解決するために、自分で方法を考えるようにしている子どもの割合
①—2	自分にはよいところがあると考えている子どもの割合
	自分が必要とされていると感じている子どもの割合
①—3	特別な教育的支援が必要な子どもの中で、個別の教育支援計画を支援に生かすことのできた学校の割合
	学びのサポーターとの連携等による支援が充実している学校の割合
①—4	「自分が安心して学ぶことができている」と考えている子どもの割合
	先生や家族以外にも相談できる大人がいると考えている子どもの割合
②—1	「札幌っていいな」と感じている子どもの割合
	振り返りを通して、自分の伸びや成長を感じることがあると答えた子どもの割合
②—2	家の人や地域の人に認められたり、支えられたりしていると感じている子どもの割合
	家庭教育事業への参加が今後の家庭教育に役立てることができると感じた人の割合
②—3	地域学校協働活動に参加している子どもの年間延べ参加者数
	自分の学びや成長に学校以外の様々な人が関わっていると感じている子どもの割合
②—4	生涯学習をしている市民の割合
	これまでに学んだ成果を生かしているまたは今後生かしたいと考えている市民の割合
③—1	自分の学ぶ環境は、安全面での配慮がされていると考えている子どもの割合
	市立園・学校におけるバリアフリートイレの整備割合
③—2	普通教室等へ冷房設備を整備した市立園・学校の割合
	情報の正しい活用の仕方を考えて端末を使っている子どもの割合
③—3	授業や校務にICTを効果的に活用できる教員の割合
	「教職経験に応じた研修」における学びを生かしてこどもの学びの充実を図っていると答えた教職員の割合
③—4	自己の発育や健康に関心をもつ子どもの割合
	図書館の利用登録がある市民の割合

